

あぶしん景況レポート

2024年10～12月期



総合企画部

Vol.18 2025.2 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

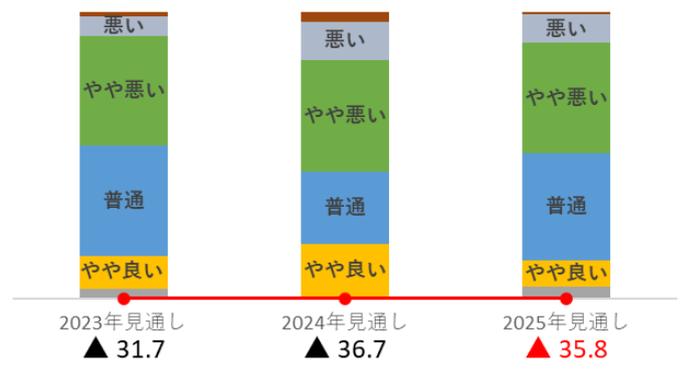
業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2024年 7～9月								▲ 14.2
2024年 10～12月								▲ 14.2
2025年 1～3月 (見通し)								▲ 17.5

- 2024年10～12月期（今期）の業況判断D.I.は▲14.2で前期と同様だった。
業種別に見ると製造業は20.0ポイント悪化の▲40.0となった。
- 2025年1～3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲17.5と、今期実績比3.3ポイントの悪化を見込んでいる。

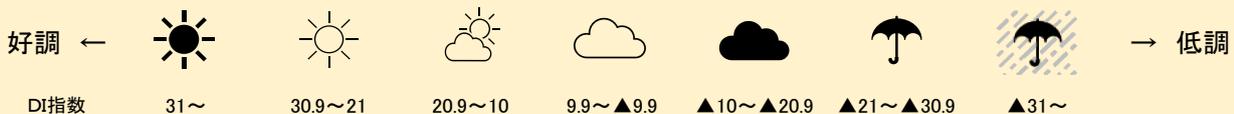
特別調査 - 2025（令和7年）の経営見通し -

- 2025年の自社の業況予想について、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が13.3%、「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が49.2%となった。この結果「良い-悪い」は▲35.8と1年前の調査（▲36.7）と比べて0.9ポイントの改善となった。
- 業種別で1年前と比較すると、製造業・小売業・建設業は改善、卸売業、サービス業は悪化、不動産業は変わらずだった。

翌年の自社の業況予想(毎年12月調査)



【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくはくあぶしん>
各支店へ！



あぶくま信用金庫
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	40.0	35.0	10.0	▲ 30.0
	実績	5.0	10.0	30.0	25.0	30.0	▲ 40.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	35.0	15.0	35.0	15.0	▲ 15.0

業況判断D.I.は前期（実績）より20.0ポイント悪化し、▲40.0となった。来期（予想）D.I.では「やや良い」の回答が増え、25.0ポイント改善の▲15.0となった。一部からは受注が増加しつつあるとの声があり、来期（予想）D.I.の改善につながったと見られる。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	60.0%	35.0%
2 原材料高	50.0%	65.0%
3 人手不足	35.0%	40.0%
3 人件費の増加	35.0%	30.0%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	45.0%	50.0%
1 人材を確保する	45.0%	50.0%
2 機械化を推進する	30.0%	25.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	5.6	61.1	22.2	11.1	▲ 27.8
	実績	0.0	22.2	44.4	27.8	5.6	▲ 11.1
来期 (1-3月)	予想	0.0	11.1	38.9	38.9	11.1	▲ 38.9

業況判断D.I.は前期（実績）より11.1ポイント改善し、▲11.1となった。重点経営施策では「新しい事業を始める」と回答した企業が増加しており、売上げの停滞・減少を解消するための対応策を検討している。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	66.7%	55.6%
2 利幅の縮小	50.0%	38.9%
3 同業者間の競争の激化	38.9%	33.3%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	66.7%	72.2%
2 経費を節減する	50.0%	50.0%
3 新しい事業を始める	33.3%	16.7%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	23.8	61.9	9.5	4.8	9.5
	実績	0.0	23.8	52.4	23.8	0.0	0.0
来期 (1-3月)	予想	4.8	23.8	61.9	9.5	0.0	19.0

業況判断D.I.は前期（実績）より4.8ポイント悪化し、0.0となった。来期予想ではやや悪い・悪いと回答した企業が全業種の中で最も少なく、来期（予想）D.I.は19.0ポイント改善し19.0となった。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 利幅の縮小	42.9%	47.6%
1 人手不足	42.9%	33.3%
2 仕入先からの値上げ要請	33.3%	23.8%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 経費を節減する	47.6%	61.9%
2 人材を確保する	33.3%	33.3%
3 品揃えを改善する	28.6%	28.6%
3 新しい事業を始める	28.6%	14.3%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	5.0	5.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0
	実績	10.0	10.0	50.0	30.0	0.0	▲ 10.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	10.0	55.0	35.0	0.0	▲ 25.0

業況判断 D. I. は前期（実績）から 10.0 ポイント悪化し、▲10.0 となった。人手不足の問題は引き続き指摘されており、重点経営施策においても「人材を確保する」が最も高い回答となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	50.0%	50.0%
2	材料価格の上昇	45.0%	55.0%
3	売上の停滞・減少	40.0%	40.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	60.0%	55.0%
2	販路を広げる	50.0%	35.0%
3	経費を節減する	40.0%	35.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	9.5	52.4	33.3	4.8	▲ 28.6
	実績	0.0	19.0	33.3	42.9	4.8	▲ 28.6
来期 (1-3月)	予想	0.0	4.8	57.1	33.3	4.8	▲ 33.3

業況判断 D. I. は前期（実績）から 9.5 ポイント改善し、▲28.6 となった。経営課題では前期より「人手不足」「材料価格の上昇」と回答した割合が増えた。来期（予想）D. I. は 4.7 ポイント悪化し▲33.3 となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	57.1%	47.6%
2	材料価格の上昇	52.4%	47.6%
3	売上の停滞・減少	38.1%	47.6%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	57.1%	71.4%
2	経費を節減する	52.4%	42.9%
2	販路を広げる	52.4%	38.1%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	実績	0.0	20.0	65.0	15.0	0.0	5.0
来期 (1-3月)	予想	5.0	5.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0

業況判断 D. I. は前期（実績）から 15.0 ポイント改善し 5.0 となった。一部の調査先からは不動産売買や仲介が減少傾向にあるとの声が上がっている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	同業者間の競争の激化	40.0%	35.0%
2	利幅の縮小	30.0%	30.0%
2	売上の停滞・減少	30.0%	25.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	情報力を強化する	25.0%	35.0%
1	不動産の有効活用を図る	25.0%	25.0%
1	販路を広げる	25.0%	20.0%
1	宣伝・広告を強化する	25.0%	20.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

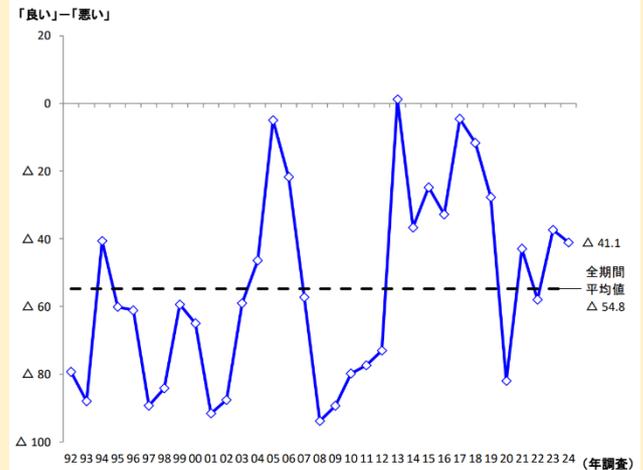
回答社数: 12,984社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2024年 7~9月								▲ 5.6
	2024年 10~12月								▲ 2.6
	2024年 1~3月 (見通し)								▲ 7.8
東北	2024年 10~12月								▲ 16.9

- 全国の2024年10~12月期（今期）の業況判断D.I.は▲2.6、前期比3.0ポイント改善と、小幅な改善基調を持続した。2025年1~3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲7.8と、今期実績比5.2ポイントの低下を見込んでいる。
- 東北地区の2024年10~12月期（今期）の業況判断D.I.は▲16.9と、前期比5.2ポイント改善した。2025年1~3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲26.8と、今期実績比9.9ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 2025年（令和7年）の経営見通し -

- 2025年の我が国の景気見通しについては「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が9.7%、「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が50.8%となった。この結果「良い-悪い」は▲41.1と1年前の調査（▲37.4）と比べて3.7ポイントの低下となった。



全国の調査員からのコメント

- 派遣社員等を雇っているが長続きしないため、業務の一部外注化を検討している。（木質パネル製造 茨城県）
- フレックスタイム制を導入したことによって業務の進捗状況に合わせた時間配分が可能となり、業務効率性や品質が向上した。（医療・介護サービス 兵庫県）

【調査要領】

1. 調査時期 2024年12月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。